

### 普及活動検討会実施報告書

大崎農業改良普及センター  
実施月日：令和5年2月3日  
実施場所：大崎合同庁舎第会議室

#### 1 検討内容

No	検討項目
	(1) 令和4年度プロジェクト課題の個別検討 課題No.2 ねぎ産地における冬越し囲い栽培の安定化と環境にやさしい栽培技術の取組拡大
	(2) プロジェクト完了課題の実績報告 課題No.1 「水田フル活用」に向けた土地利用型経営体によるえだまめの産地育成 課題No.3 直売所と連携した中山間地域でのぶどうの生産・販売 課題No.4 下真山地区における農地整備事業を契機とした地域農業の発展
	(3) 令和5年度普及指導方針・プロジェクト課題活動計画について

#### 2 検討委員の構成

(単位：人)

区分	人数	区分	人数
先進的な農業者	1	生活者	1
若手・女性農業者	1	学識経験者	
市町村	(1)	マスコミ	
農業関係団体	(1)	民間企業	

※ ( ) 代理出席

#### 3 委員の評価と普及センターとしての対応方向

検討項目	評価値 平均値	評価結果 (コメント, 評価表の要約)	普及センターとしての対応方向
検討項目 No.1 「水田フル活用」に向けた土地利用型経営体によるえだまめの産地育成	3.8	<ul style="list-style-type: none"><li>計画よりも成果が上回っていると感じた。</li><li>えだまめの種類を増やすことで収穫時期が長くなることは良いと思う。</li><li>除草対策が課題となるので、支援頂きたい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>引き続き経営指標等を用いた支援を継続していく。</li><li>品種比較した情報についても作付け予定者等に情報提供を行っていく。</li><li>除草剤の比較結果等についても体系的に指導していく。</li></ul>
検討項目 No.2 ねぎ産地における冬越し囲	4.0	<ul style="list-style-type: none"><li>ご紹介頂いたカットドレーンの効果は高いが、土質が崩れにくいものでないと穴が埋まりやすい。</li><li>混合堆肥有機肥料は国産のものか、肥料費低減に繋がる取り組みに期待している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>次年度土質の違いについても見ていくので、情報共有させて頂きたい。</li><li>本課題で用いた混合堆肥有機肥料は原料が海外由来で国産のもの。肥料費が低く、効果の高い肥料を引き続き検討し</li></ul>

<p>い栽培の安定化と環境にやさしい栽培技術の取組拡大</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・排水対策の結果も顕著に出ていて良かった。</li> <li>・冬越し囲い栽培の更なる普及に期待している。</li> <li>・冬越し囲い栽培による冬期間のねぎは糖度も高く食味に優れる面があるので、改めて知名度向上に努めたいので、その面での支援もお願いしたい。</li> </ul>	<p>ていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排水対策については、カットドレーン以外にも様々な方法があるので、関係機関やメーカーと連携して現地での実証を来年度も進めていく。</li> <li>・冬越し囲い栽培による単価の高い時期の出荷は生産者の所得確保にも繋がるので、引き続き支援していく。</li> <li>・販売面については、県庁関係課とも連携しながら支援していく。</li> </ul>
<p>検討項目 No.3 直売所と連携した中山間地域でのぶどうの生産・販売</p>	<p>4. 4</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人気の高いシャインマスカットの支援により岩出山も産地として発展することを期待している。</li> <li>・各時期に細かに技術支援していることが技術定着に繋がっていると感じる。</li> <li>・直売所のみならず直販（系統外）についても更に検討が必要と感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シャインマスカットは販売面でも人気が高いため、生産量の増加に向けた支援を継続していく。</li> <li>・新規作付け者には基本的な整枝、剪定、無核化等の技術定着が欠かせないので、生産者ごとの技術習得状況に合わせて支援していく。</li> <li>・今後は生産量が増加が見込まれるので、直売所を中心としながらも多様な流通ルートを確認できるように関係機関と連携していきたい。</li> </ul>
<p>検討項目 No.4 下真山地区における農地整備事業を契機とした地域農業の発展</p>	<p>4. 6</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区の皆様が一体となって取り組んでいると感じた。中山間地域のモデルになって頂きたい。</li> <li>・「しもまやま通信」の発行を通じて、情報共有できるようになっていることは有益で地域の方々にとっても心強いと感じた。丁寧で細やかな対応が素晴らしい。</li> <li>・他地区でも同様の課題を抱えているところがあるので、是非情報共有をお願いしたい。</li> <li>・この地域の生産者の方々も心強いのではないかと感じた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地の維持は中山間地域での大きな課題となっているので、本課題をモデルとして指導に努めていきたい。</li> <li>・将来に渡り地域の営農体制を構築し維持していくためには地域の動きを関係者に見える化することが大切であるので、来年度も継続して発行に協力していきたい。</li> <li>・モデルとして紹介していきたい。</li> <li>・地域の生産者のご期待に添える活動を展開していきたい。</li> </ul>
<p>普及計画について</p>	<p>4. 6</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隙のない指導計画書を見せて頂き、これがそのまま進めば良いと感じた。農家現場では、肥料、飼料、エネルギーの高騰が課題。高度化成一本でやってきたところから単肥化成で自分の畑にあった施肥が出来ないものかももう一度施肥の勉強をしないといけないとの雰囲気もあるので、是非その際にはご指導を頂きたい。飼料用米の専用品種以外への補助金の減額、令和6年度以降どういう品種に切り替えていくかが現場で注目されているので、それに関する情報を早く提供して頂きたい。徹底した排水対策をすると5年目に水を張っても水の</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の活動の中で、情報提供を含めてご協力させて頂きたい。</li> <li>・地域の課題に寄り添いながらご支援できるところをご支援させて頂きたい。</li> <li>・若手の生産者もどんどん元気が方が出てきているので、引き続き支援していきたい。</li> <li>・来年は子実用とうもろこしのプロジェクト課題等を中心に活動する計画としているのでよろしくお願いしたい。</li> </ul>

		<p>張れない田を作っていくことにもなりかねないので、地域全体の輪作体系をどう維持するかが地域での話題となっている、そのことに関しても情報提供をお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• どのプロジェクト課題も興味を持って聞かせて頂いた。今は、農業や他分野も大変な状況で、特に我が家の酪農経営も厳しい状況であるが、これからも普及センターにはお世話になると思うので、よろしくをお願いしたい。</li> <li>• 生産者の方々に寄り添った指導が細かく丁寧にされていることをお聞きすることが出来て感謝している。高齢化が進んでいると感じていて、若い生産者を育てていくことが大事なことだと感じているので、これからも若い生産者を導いて下されば良いと感じた。</li> <li>• 今後とも計画でご紹介頂いた内容の情報提供をお願いしたい。</li> </ul>	
その他	/	<p>今後、普及センターで取り組む品目はJA 加美よつばとしても得意な品目もあるので、販売面でも連携していければと考えている。</p>	<p>• JA, 市町等関係機関と連携を強化して、販売面の課題も解決していきたい。</p>